

令和6年度

**運営に関する計画
(最終評価)**

大阪市立三軒家西幼稚園

令和7年3月

大阪市立三軒家西幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和5年度よりコロナ禍前の地域との交流や諸行事の内容に戻せるよう検討を重ねてきた。「今の子どもたち」に合った保育内容を試行錯誤しながら進めていくことの重要性を踏まえ、今年度は入園児数が少ないことから、様々な人とのかかわりを多くもてるよう異年齢児とのかかわりを深めたり、地域の方との交流活動を今まで以上に実施する。

○引き続き、子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を実施するため、二次避難所でもある三軒家西小学校への避難を常に念頭において訓練を計画し、実施する。今年度も校庭で遊びながら、場所や先生方に親しみをもてるようにし、あらゆる時間帯や場所で臨機応変に対応できるよう無予告での訓練を積み重ねていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

○令和7年度の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

○令和7年度の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 今年度末の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度末の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

年度当初に掲げた各取り組み内容や指標を考慮しつつ、今年度の幼児の発達段階や実態を踏まえた教育活動を実践することができた。

33名が回答した保護者アンケートでは、「一人一人を大切にした教育を行っていますか。」という問いに対して、30名の方に「そう思う」という回答をいただくことができた。日々幼児の姿や成長を教職員で丁寧に見守りながら、子どもたちが楽しめる環境を整えてきた結果であると考ええる。

また、園での様子や成長を保護者と日々共有したり、一人一人に合った対応を保護者と共に探ったりして、保護者の思いに寄り添い続けてきたこともこの結果に結びついていたのではないかと考えられる。

今年度の自己評価や次年度への課題を考慮し、次年度の幼児の実態に即した取組内容を新たに考え、保育実践していきたい。

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【安心・安全な教育の推進】 1-1 園の年度目標 保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。 | A |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 非常変災時に備えて避難訓練を実施し、子どもの安全意識を高める。 | C |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・各安全計画を見直し、月1回避難訓練を実施する。 ・年1回、保護者と合同避難訓練を実施する。 ・年2回、保護者への引き渡し訓練を実施する。 ・近隣の小学校と連携し、年1回避難訓練を実施する。 | |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|--|
| 【年度目標】について 保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%だった。 |
| 【取組内容】について ○年度当初、学校安全計画に基づき、幼児の実態に沿った避難訓練の年間計画を立てた。 「お・は・し・も・な」の約束を視覚物を使用して知らせることで、子どもたちの理解力が深まると共に、掲示物を降園時に保護者の方にも見てもらえたことで、指導の様子や園での決まりを啓発することができた。 年度当初、一時預かり事業でも2回避難訓練を実施する予定にしていたが、参加人数や参加状況により実施が難しく、1回のみとなってしまった。 |
| ○9月の「大阪880万人避難訓練」に合わせ、地震想定で保護者との合同避難訓練を行った。保護者にも避難時の約束を知らせ、子どもと一緒にシェイクアウトの姿勢を取ってもらい、園庭へと避難してもらった。一緒に行ってもらうことで、より園の取り組みを理解してもらうことができた。 |
| ○6月と11月に保護者への引き渡し訓練を実施した。6月には不審者想定で園までの引き取り、11月は津波想定で三軒家西小学校までの引き取りをお願いした。子どもの安全確保、保護者の誘導など、教師間で情報を共有し、連携を取りながら行うことができた。 また、子ども、保護者共に適度な緊張感をもちながら参加する姿が見られ、もしもの時への意識が高まっていた。教師にとっても様々な想定を考えるきっかけとなり、非常時 |

への備えの意識が高まった。

- 1月に阪神・淡路大震災からの教訓を生かし、三軒家西小学校との幼小合同避難訓練を計画・実施した。園児の発達や就学を見据え、3歳児と6年生、4歳児と4年生、5歳児と5年生がペアになり行動したことで、安心感をもって避難することができた。放送での校長先生の話も落ち着いてよく聞き、年長児は帰園してからも「津波がきたら1階の天井まで浸かるんやって」「何時間も逃げとかないとアカンって言ってた」と、振り返る姿が見られた。

次年度への改善点

- 引き続き、安全に落ち着いて行動できるよう、避難訓練を実施していく。
- 一時預かり事業中の避難訓練は長期休業等を活用するなどの工夫をし、計画的に実施する。
- 保護者が園内での避難訓練を子どもと体験し、子どもたちが守る決まりや訓練の様子を知り、家庭で非常変災が起こった際の対応について子どもと共に考えられるようにすると共に、減災への意識をもてるような取り組みも行っていく。
- 様々な非常時を想定し、周辺地域や家庭の実態に合った引き渡し訓練を実施する。
- 引き続き、三軒家西小学校と連携し、避難訓練を実施したい。

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【安心・安全な教育の推進】 1-2 園の年度目標 保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | | 進捗状況 |
|---|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】 身近な人に、親しみをもってあいさつをする。 | | B |
| 指標 ・月1回、子どもの実態や変容を踏まえ、指導内容や具体的な指導方法について共通理解をする。 ・学期に1回、子どもがあいさつを進んで行えるような環境づくりをする。 | | |
| 取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 身近な自然への興味や関心を高め、季節を感じられる遊びを存分に楽しむ。 | | B |
| 指標 ・年度初めに年間計画をたて、計画的に取り組む。 ・年2回、ふれあい野菜栽培を実施する。 ・月1回、子どもと共に遊びを通して、栽培環境を含む園内環境づくりを行う。 ・年2回、教職員が自然環境や栽培活動への知識を高める機会をもつ。 | | |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | | |
| 【年度目標】について 保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%だった。 | | |
| 【取組内容①】について ○教職員からあいさつをすることで、子どもたちも自然と友達や先生にあいさつができるようになってきている。 ・近隣の小学校や地域の公園に遊びに行った時には、小学校の先生や地域の方にあいさつをする機会をもち、あいさつがきっかけで周りの人とのつながりが広がった。 ・5歳児…劇遊びにおいての台詞や、クイズゲームを通して友達の話をよく聞いてから、自分の思いを伝えるようになった。また、話を聞く中で相手の思いや考えを子どもたちなりに理解しようとする姿が見られるようになった。 ・4歳児…言葉のやりとりが増え、トラブルにおいての何度も話し合いを積み重ねてきたことで、相手の思いに気付きながら遊ぶようになった。どうしても自分の思いを通したい時も、友達に言われると納得する姿も見られるようにな | | |

り、みんなで考えようとする雰囲気が高まった。

- ・ 3 歳児…園生活に慣れ、自分の思いをしっかりと遊べるようになったことから、思ったことを大きな声で伝えようとする姿が見られるようになった。

【取組内容②】について

○親子で植えたサツマイモの苗の生長に関心をもちながら、秋に収穫することができた。収穫した芋をみた保護者が「こんなに大きくなってたの」と驚かれる様子が見られ、持ち帰って料理することを楽しみにされていた。

また、持ち運びやすいよう一人ずつ土嚢袋で植えたことで、重さを感じたり園内で気軽に芋ほりを楽しんだりすることができた。

○冬野菜のホウレン草や水菜の間引きや収穫を一緒にしながら、弁当に入れてもらったり鍋に入れたりして食すまでの過程を体験することができた。

○保育に積極的に自然物を取り入れ、子どもたちが自然物に親しみや関心をもつことができた。

- ・ マリーゴールドや日々草、ケイトウなどを植えたことでバッタや幼虫など身近な生き物を見つけやすく、親しみをもてた。

- ・ ケイトウをドライフラワーにして、作品の飾りに使うことができた。

- ・ 落花生を収穫した際には、「ピーナッツでできた」と皮をむいて出てくる面白さを感じ、繰り返し皮をむいていた。

○草花や野菜の栽培方法や時期などについて教職員間で情報交換し、知識を高めることができた。また、共通理解を図りながら、適宜子どもと一緒に鉢を動かしたり、苗を植えたりして環境を整えた。

次年度への改善点

○子どもの実態や変容を把握しながら、その時々 of 気持ちや状況に寄り添った言葉や挨拶がでるように、促していきたい。また、月に 1 回程度、教職員間で変容や今後の課題についての共通理解を図る。

○限られた園庭での場所においてできるような栽培の種類や、自然物に対する知識をさらに深めたり、自然物の生長に関心をもったりし、子どもたちが自然の不思議さや命の尊さを感じられるようにする。

具体的な遊びの内容（年間計画）

| | 花 | 野菜 | 花壇 | その他 |
|------|---------------|-----------------------|--------------|-----------|
| 4 月 | ↓ | | ↓ | ↓ |
| 5 月 | | ナス・ミニトマト・ ピーマンから選ぶ | 落花生 ひまわり | さつまいも、びわ |
| 6 月 | 朝顔 | | | あじさい |
| 7 月 | | | | |
| 8 月 | ↓ | | | |
| 9 月 | ↓ | 大根・水菜・ホウレ ン草から選ぶ | ミニ人参 ↓ | ↓ |
| 10 月 | | | | |
| 11 月 | チューリップ ビオラ | | ↓ | |
| 12 月 | | | | |
| 1 月 | | ↓ | | |
| 2 月 | | | | |
| 3 月 | | | スナップエンド ウ | ベゴニア ↓ |

○その他→桜・紫陽花・どんぐり・まつぼっくり・オクラ・ゴーヤ・柿など。

○生き物の飼育→金魚、メダカ、カメ、ザリガニ、カブトムシ、ダンゴムシ、
蝶 など。

○ビオラ、ベゴニア、朝顔などを使った色水遊び

○植物の蔓や花びらを使ったままごと遊び

○収穫した野菜を自宅へ持ち帰り、自分で育てたものを食べる。→収穫の
喜びを感じる。

大阪市立三軒家西幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-1 園の年度目標 保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| 取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 子どもが主体的に遊びを楽しめるような教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。 | B |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態把握をし、保育環境についての検討会を月1回行う。 ・週案や行事計画の立案時に、就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。 | |
| 取組内容②【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】 季節や時期に応じて、教師や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。 | B |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上、様々な場所で体を動かす機会をつくる。 (園庭、小学校、園外保育 等) ・教職員が季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、月1回、職員間で共有する。 | |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|--|
| 【年度目標】について 保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%だった。 |
| 【取組内容①】について ○子どもの実態把握をして、興味や関心をもっていることを読み取り、保育環境についての検討会を月1回以上行った。教職員間で共有したり、保育環境を整えたりしたことで、主体的に遊ぶ姿につながった。 ○各行事の計画案、保護者への配布物作成の際に、就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけや環境構成を知・徳・体で分かりやすく明記した。 ○学期ごとの保護者会で、プレゼンテーションを用いて知・徳・体や子どもの育ちなどを保護者に周知した。 |

【取組内容②】について

- 1学期は、自園で研究保育を行った。教職員が様々な体を動かす遊びの教材研究を行い、保育室、玄関ホール、遊戯室を使って、ダンゴムシになって遊んだり、ダンスをしたり、サーキット遊びをしたりできる環境を整えたことで、子ども達は、遊びの中で自然と体を動かすことを楽しむことができた。
- 2学期は、運動会や園外保育、小学校に行くなど、教職員間で検討し、体を動かす機会を月1回以上もつことができた。
運動会では、各学年ごとに運動遊びに取り組み、遊ぶ中でのびのびと体を動かすことを楽しむことができた。
- 3学期は、寒い日も続いたが、戸外に出て走ったり、ダンスをしたりして教師や友達と一緒に体を動かす楽しさを味わうことができた。また、5歳児がホッピングや一輪車に挑戦する姿を見て、3・4歳児は憧れの気持ちを持ち、自ら主体的に楽しんで取り組むようになった。
- 教職員が季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、月1回、職員間で共有したり、集会を通して、全園児で踊ったりした。
- 季節によって、戸外での遊びだけでなく、遊戯室を活用してリズム遊びをしたり、体操をしたりして、室内でも体を動かす機会をつくることができた。

次年度への改善点

- 引き続き、就学前教育カリキュラムを活用して、保護者への配布物に知・徳・体を分かりやすく明記したり、計画案の立案時に明記したりする。
- 引き続き、三軒家西小学校をお借りして、小学校に行く機会や体を動かす機会を増やしていく。
- 月に1回程度、季節や時期に応じた遊びや体操等をして、全園児で体を動かす機会を増やしていく。

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-2 園の年度目標 保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向5 健康教育・食育の推進】 子どもが自分の健康や食に興味や関心をもち、基本的な生活習慣を身につける。 | B |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に身につけたい「睡眠」「食」「衛生」「運動」「社会性」の5つのテーマを軸に、子どもの実態に合わせた保健指導を月1回実施する。 ・保護者の理解を深めるために、学期に1回、保護者参加型の保健指導を実施する。 ・月2回、ほけんだよりや降園連絡等を活用し、保護者への啓発を行う。 | |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|--|
| 【年度目標】について 保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣を身につけていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が96.5%だった。 |
| 【取組内容①】について ○今年度は5つのテーマを軸に保健指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠…「睡眠とメディア機器の利用」 ・食…「3色栄養」 ・衛生…「手洗い・うがい」「トイレの使い方」「歯磨き」 ・運動…「正しい姿勢」 ・社会性…「からだの権利」「レジリエンス」「プライベートパーツ」 テーマを明確に設定したことで、指導の計画を立てやすくなり、目指す子ども像を明確にしながら指導を進めることができた。また、年間を通して子どもたちの実態を把握し、その時々状況に応じて担任と相談しながら柔軟に指導を行えたことも効果的だった。計画的な指導と個々のニーズに応じた対応を考えることで、子どもたちが日々の生活の中で自ら健康的な行動を意識して実践する姿が見られるようになった。 |
| ○子どもの近視や側弯症増加の背景には、姿勢の乱れがある。これを踏まえ、3学期には全クラスで姿勢に関する保健指導を行った。子どもたちにも分かりやすく伝えるために、背骨が描かれたTシャツや内臓が描かれたエプロンを使い、実際に「ぐー・ぺ |

た・ぴん」の合言葉に合わせて正しい座り方を意識できるように取り組んだ。最後には、エクササイズを取り入れたことで、楽しみながら正しい姿勢の感覚をつかむことができた。

- 今年度は昨年度に行った保護者アンケートの結果を踏まえ、保護者の意見を反映した保健指導を行った。指導内容は、幼児期に必要な基本的な事項(5つのテーマ)を十分に組み入れた上で、さらに保護者の意見を加えることで、より実践しやすく、家庭との連携を深めることができた。特に、歯磨き指導や生活習慣に関する指導に関しては、保護者に参加してもらうことで、指導内容の共有がスムーズに行え、園と家庭が協力して健康づくりに取り組むよい機会となった。

次年度への改善点

- 今後も、子どもたち一人ひとりが自分のいのちを大切にし、自他を尊重する心を育めるよう、継続的な取り組みを行っていく。
- 次年度に向け、今年度も保護者アンケートを実施し、他者評価を取り入れることで指導の改善を図る。また、保健指導が一回限りで終わらず、家庭でも継続できるよう工夫する。具体的には、指導後に親子で取り組めるチェックリストを配布するなど、園と家庭が連携しやすい環境を整えていく。

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【学びを支える教育環境の充実】 3-1 園の年度目標 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 身近な地域の人たちや保育所・こども園・小学校、未就園児との交流活動を存分に楽しむ。 | B |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校園所と連携しながら、月2回交流活動を実施する。 ・未就園児交流活動を月1回、未就園児タンポポクラブを月に6～8回実施する。 ・教育活動について週2回以上、ホームページや降園連絡を通じて広く知らせる。 | |
| 取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】 絵本やお話にふれ、子どもたちの心を豊かに育てる。 | C |
| 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学期に2回以上、保護者やボランティアによる絵本の読み聞かせの会を実施する。 | |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|---|
| 【年度目標】について 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流活動を楽しんでいますか。」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が94%だった。 |
| 【取組内容】について <ul style="list-style-type: none"> ○5歳児が地域の方と岩崎橋公園で、花の苗植えや草抜きをした。一緒にすることで、互いの存在を知り、自園の幼稚園や近隣の公園や花壇を大切に感じたり、親しみをもったりすることにつながった。 ○今年度より未就園児活動事業「たんぽぽクラブ」を再開し、週に2回程度午前保育を実施している。一緒に泥遊びや水遊びを楽しんだことで、園児は泣いている子どもに優しくかわろうとしたり、遊具を譲ったりして年上としての自覚をもてるようになった。 ○小学校2年生が町探検で、園内を訪れた。小学生が質問をしてメモをとる様子に憧れの気持ちを持ち、様子を見ていた。校庭を借りるだけでなく小学生が園にも遊びに来 |

てくれることで、より身近に感じることができた。

- 教育活動について週に1回以上、ホームページや降園連絡で保護者に知らせている。
写真で活動内容を見ることで、子どもたちの表情や様子がわかりやすいとの声を聞くことができた。
- 大正図書館ボランティアの方による「絵本の会」を開催した。全園児と一緒に絵本を見る機会がないことや、担任以外の声で話を聞くことはとても新鮮であり、絵本の会の方に親しみをもつことができた。
- 未就園児交流活動「なかよしランド」を月2回開催した。近隣の方が遊びに来て、園でのびのびと遊ぶ様子を見て、入園したりタンポポクラブに参加する方もいて、全職員と全園児と一緒に遊ぶ様子を見て、園の雰囲気を感じてもらうことができた。
- 5歳児が進学する小学校と交流する機会をもったことで、授業を見たり校庭の遊具で遊んだりして、進学への期待を高めることができた。
また、小学校の先生方が園に来て親しみやすい人形で話をしてくださったことで、進学への期待をもつことができた。

次年度への改善点

- ・未就園児交流活動において、遊びの内容を工夫しながら無理なく在園児とのかかわりをもてるようにし、少人数の良さを生かしながらかかわりを充実させていきたい。
- ・次年度も引き続き、大正絵本の会の方や保護者の読み聞かせを実施できるよう計画していきたい。また、親子で聞く機会をもち保護者自身に読み聞かせの関心をもってもらえるようにしたい。
- ・小学校への移行がスムーズになるよう、5歳児を中心に地域の保育園や小学校と集まって活動していきたい。天候など（雨天や暑さ）で左右されないよう室内の活動で、進めるようにする。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三軒家西幼稚園 学校協議会

1、総括についての評価

- 年度目標は、すべての項目についておおむね達成することができていた。
- 未就園児活動の再開や、継続して小学校の校庭で遊ぶことで、いろいろな人とのかかわりをもつことができ、場面に応じてあいさつする姿につながっていると感じた。
- 目の前の子どもたちに日々丁寧に向き合い、興味関心を探っていることから、子どもたちが好きな遊びを見つけ、主体的に遊んでいる。
今後も室内環境や園庭の環境、栽培環境などを整え、子どもたちが存分に遊びを楽しむように環境を整えてほしい。

2、年度目標ごとの評価

【安心・安全な教育の推進】 1－1

保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

今後も地域や三軒家西小学校と連携し、子どもたちがより安全に過ごせるよう保育実践してほしい。

【安心・安全な教育の推進】 1－2

保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

子どもたちが、いきいきと園生活を送っているように見受けられる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2－1

保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

常に、子どもの実態に保育内容が合っているかを考えながら、教育活動を進めてほしい。次年度も楽しい園生活が送れるよう尽力してほしい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2－2

保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

今後も、発達段階や子どもの姿に合わせた保健指導の内容を工夫してほしい。

【学びを支える教育環境の充実】 3－1

保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

次年度も引き続き、地域や三軒家西小学校との日常的な関わりを深め、子どもも大人も楽しみながらつながることができるような教育活動を行ってほしい。

3、今後の学校運営についての意見

○次年度は園児数も減ることから、さらに幼稚園の子どもたちが地域との関わりを楽しむことができるような行事内容を考え、参加できるようにしていきたい。

特に5歳児は、近隣の小学校や保育所・こども園とのかかわりをもち、円滑な小学校生活をスタートできるようにしていきたい。